

第11回がん患者大集会参加報告書



第11回

がん患者大集会

いのちに希望を-part2
がん対策基本法改正に向けて

参加費
無料

変えよう日本のがん医療、手をつなごう患者と家族たち
of the patients ,by the patients, for the patients

日時：2016年11月15日（日）10時～16時
会場：東京医科歯科大学M&Dタワー 鈴木章夫講堂
担当：東京都細胞検査士会
三宅真司、阿部 仁、澁木康雄、町田和久、稲垣敦史、金室俊子、
長尾 緑、鈴木美那子、吉田志緒子（9名）



第11回がん患者大集会に協力した東京都細胞検査士会メンバー
（東京都細胞検査士会会長が撮影）

プログラム

開催日時 2015年 11月 15日(日) 開場:9時30分 開始:10時 終了:16時00分

開催場所 東京医科歯科大学 M&Dタワー 鈴木章夫講堂(東京都文京区湯島 1-5-45)

①各地がん患者サロン等のサテライト会場へ参加

②Ustream・ソーシャルネットワークを利用した個人視聴(スマートフォン視聴可)

【午前の部】 10:00-12:00

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ・ キャンサーギフト～神様からの贈り物 | 吉野ゆりえ氏 (希少がん「肉腫(サルコーマ)」患者) |
| ・ 私見:これからのがん医療の方向性 | 鷹巢賢一先生 (がん・感染症センター都立駒込病院 院長) |
| ・ がん対策の最近の動向 | 佐々木健氏 (厚生労働省 がん・疾病対策課長) |
| ・ 届けよう!がん患者の声(がん対策基本法改正に向けて) | |

【休憩】 12:00-13:00 12:50より 皆で踊ろう～「のの字の歌」 乳がんリハビリ&自己検診 体操!

【午後の部】 13:00-16:00

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| ・ 切らずに治す～最新の放射線治療～ | 鈴木義行先生 (福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 教授) |
| ・ 免疫治療がもたらすがん治療の未来 | 玉田耕治先生 (山口大学大学院 医学系研究科免疫学分野 教授) |
| ・ がん切除後の失われた機能と形の再建 | 光嶋 勲先生 (東京大学医学部附属病院 形成外科・美容外科 教授) |
| ・ シンポジウム | ・アピール文提出 |

今回のがん患者大集会のメイン会場は東京医科歯科大学であったため、サブ会場であった前回より多くの参加者がみられた。事前登録者および当日申し込み者を合わせ、200名を超える参加があり、医療ジャーナリストの参加もみられた。また、会場入り口のフロアには、患者会のブースも置かれ、例年より各種資料も多く並べられていた。



[受付にて]

● ● ● 東京都細胞検査士会の協力内容 ● ● ●

受付係：事前登録者の確認

：資料の配布と座席案内

：メーカー提供品の配布

案内係：最寄駅から会場までの案内

写真係：会場および演者などの写真撮影



[シンポジウムの様子]

我々の協力内容のほとんどが会場外であったため、詳細な講演内容等は分からないが、シンポジウム及びアピール文の採択は聴講する事ができた。質問文からは、最新の治療に関するがん患者さんの関心や期待の大きさをうかがうことができた。この事はアピール文にも反映されていた。

シンポジウムの内容は、がん対策基本法改正に関する事項であった。各先生方から基本法改正への要望として

- ・ 放射線治療を行う人的な問題の解決
- ・ 免疫療法を入れる
- ・ 夜間手術などの評価をしてほしい

などがあげられていた。

今回採択されたアピール文の内容は以下のとおりである。

厚生労働省あて

- ・がん対策基本法改正などの際に、がん患者の声を反映させること
- ・新しい治療法、新薬などの開発に国をあげて臨むこと
- ・適切な情報ががん患者に届くように環境を整えること
- ・がん患者の生活支援・就労支援に力をいれること

医師会あて

- ・地域で安心して治療が受けられるよう、地域包括ケアなどに取り組むこと
- ・在宅の緩和ケアの推進に取り組むこと
- ・地域のがん患者への理解と支援を行うこと

がん患者と家族あて

- ・正しい知識を得るため勉強をしていくこと
- ・支援センター、サロン等を活用し、孤立することなく生活の質を維持していきましょう

これらのアピール文は厚生労働省、日本医師会に渡された。



NPO法人がん患者団体支援機構 浜中和子 理事長
開会のご挨拶

少しずつではあるが、細胞検査士会におけるがん患者大集会への協力体制が整いつつある。主催の方々にも「検査士会さん」と存在を覚えていただけており、今後も良好な関係を保ちながら、がん患者の方々のことを知り、また細胞検査士を認知していただくため協力する環境を整えていければと思います。

次回の第**12**回がん患者大集会は**10月9日（日）**本会場を秋田市で、サブ会場を東京医科歯科大で開催予定ですので、会員の皆様のご後援、ご協力をお願い致します。

文責 細胞検査士会 渉外委員会
吉田志緒子